

葉山町下山口

沼田米子氏所蔵文書

絵図

番号	資料名	年代	寸法 (タテ×ヨコ)	形態	数量
1	紙本着色 源頼朝屋郭之図 (4紙1舗)	寛延 3. 4	66.3×78.0	舗	1
2	天明四年辰年飢饉日記 (9紙1巻)	天明 4	16.5×421.1	巻	1
3	紙本墨書 沼田家屋敷図 (9紙1舗)	文化 7. 8	96.9×141.6	舗	1
4	紙本墨書 下山口村田畑図 (2紙1舗)	天保14. 8	33.0×71.5	〃	1
5	紙本着色 下山口村々絵図 (4紙1舗)	嘉永 5	79.5×55.0	〃	1
6	水車場増加願書	明治17.12.20	27.7×20.0	綴	1
7-1	紙本墨書 下山口村地番書上図 (地籍図) 控 (地番記載無)	明治期	39.5×27.5	舗	1
7-2	紙本墨書 下山口村地番書上図 (地籍図) (控) (水ノセ口ヨリ車迄間数、地番1202~1566、途中欠番有)	〃	39.5×27.5	〃	1
7-3	紙本墨書 下山口村地番書上図 (地籍図) (控) (水ノセ口ヨリ車迄間数、地番1202~1566、途中欠番有)	〃	39.5×27.5	〃	1
7-4	紙本墨書 下山口村地番書上図 (地籍図) (控) (水ノセ口ヨリ車迄間数、地番1202~1566、途中欠番有)	〃	39.5×27.5	〃	1
8	紙本着色 三浦郡下山口村絵図 (4紙1舗)	年月日不詳	80.0×56.0	〃	1
9	紙本着色 下山口村絵図 (4紙1舗)	〃	80.0×55.2	〃	1
10	紙本墨書 下山口村下絵図 (4紙1舗)	〃	55.5×79.0	〃	1
11	紙本淡彩 下山口村絵図 (2紙1舗)	〃	40.0×55.5	〃	1
12	紙本淡彩 下山口村絵図	〃	32.8×47.8	〃	1
13	紙本淡彩 下山口村絵図	〃	27.5×40.0	〃	1
14	紙本着色 下山口村絵図	〃	28.6×40.0	〃	1
15	紙本着色 下山口村絵図	〃	27.2×40.8	〃	1
16	紙本着色 下山口村田畑図	〃	27.5×40.0	〃	1
17	紙本着色 下山口村絵図断簡 (2紙1舗)	〃	40.5×42.5	〃	1
18	紙本着色 三浦郡武村絵図 (4紙1舗)	〃	80.0×55.5	〃	1
19	紙本着色 相州三浦郡内浦四ヶ村海辺絵図 (9紙1舗)	〃	63.5×115.0	〃	1
20	紙本着色 相州八郡絵図断簡 (7紙1舗)	〃	66.5×122.5	〃	1
21	紙本淡彩 徳川幕府御用船寄港之図断簡 (5紙1舗)	〃	41.5×75.0	〃	1

軸物、附属品・短冊（和歌）

軸物、附属品

番号	資料名	年代	編著者、版元、出版人	形態	数量
1	法然上人筆 証文（「唐我朝に諸の智者達の沙汰し云々」）	建暦 2. 1.23	源空	幅	1
2	城左兵衛奉書（「頃年數多真法之威力云々」） 附、蓋付き木箱（「沼田氏蔵」の墨書記載がある。）	文永11. 5. 2		卷	1
3	城左兵衛奉書写（「頃年數多真法之威力云々」）	文永11. 5. 2		通	1
4	書状二通	年月日不詳 （江戸期）		卷	1
5	日蓮筆曼陀羅（略勸請本尊） 附、蓋付き漆塗木箱	弘安 2. 6		軸	1
6	鎌倉本覚寺二十七世日朝略勸請本尊 鑑定書（切紙） 附、包紙	宝暦 1.11.15		通	1
7	本法寺廿九世日領支証（日蓮筆曼陀羅「略勸請本尊」）	宝暦 4. 6. 5	本法寺廿九世 日領	軸	1
8	富小路貞直筆横一行書「俳諧歌場」	文化 2～ 天保 8		卷	1
9	沼田邸平面図（50分の1図、青焼コピー）	年月日不詳 （昭和期）		舗	1

短冊（和歌）

番号	資料名	年代	作者	形態	数量
1	柳 青柳のかみも着にけん 云々			尺	1
2	赤牛のあかぬまれの帰り路は 云々			〃	1
3	おなしこゝろを 赤牛のあかぬまれの帰り路ハ 云々		豆成	〃	1
4	天かした屋根のかわらのみつ巴／地紙そへたき四方の初春		實副	〃	1
5	花 秋津しまやまと 云々		圀雄	〃	1
6	水上落花 あともし流れいにけり 桜花／水とゑかけるこゝちのミして		専落	〃	1
7	花 雨風につけて思□はやま桜 云々		清津風	〃	1
8	子規 あゆみおふる沢辺 云々		□和	〃	1

番号	資料名	年代	作者	形態	数量
9	稲の葉に宿からんとや鎌ほとに 研すましたる有明の月		元木阿弥	尺	1
10	宝 いはやから鬼のやうなる男らか こかねをはこに佐渡の嶋山		道頼	〃	1
11	打ちなひく門の柳と家鶏の たれをとハなく人そ待るゝ		蛙楽	〃	1
12	味酒の□におふ四方の巴流霞 ひきつれ立る人のやまやま		音人	〃	1
13	関路夜時雨 逢坂の関守神や留守な らむ／よるも時雨の過る音する		真顔	〃	1
14	五徳主人のゆくりなく／とはをゐひ けれハ かせもなき草の菴をあきら かに／涼しくてらす夏夜の月		了會	〃	1
15	帰花見る／我なからわすれけり		竹山	〃	1
16	つきとうきよの／きよければ雲にね たまれみてはうけ／月ハうき世のよ きかゝみかな		葉守	〃	1
17	くれたけのよしの宮こと聞るゝに 君ハ千とせのかたるひもなく			〃	1
18	吉原五月雨 五月雨につつみの金を くつしてハ／ふる程遣ふいつけの夢		倉出人	〃	1
19	五月雨や我も飼ふ蚕の眉つくり		かつしか 素丸	〃	1
20	捧木内公江 寒梅や何しらねどその 薫り		可口片	〃	1
21	三又夏月 すゝみ船こくをせんとゝ こきよせよ／あつさも中州月もミつ また		口ひ	〃	1
22	時鳥 積善の家のあるしも餘慶にハ ／きく事ならぬ初郭		公嘉門	〃	1
23	たなはたのこよひあふてふもてなし ニ／口のにしきもひもやとくらむ		千之	〃	1
24	時鳥 月の夜の天にひと声あしもと に 云々		道頼	〃	1
25	祝 渡樋竹にちよをこめたる新宅ハ あめかしたにそひさしかるへき		大湊舎	〃	1
26	卯花 時しらぬゆきかけそみる 云々		堅光	〃	1
27	鶴 どんどんとはやる芝居寄席大鼓 云々		三浦 白蓮	〃	1
28	五徳亭のぬしに／参りするとて に くまれす福貴長命うれいなく 云々		音高	〃	1
29	はしめて逢／愛といふことを いく たひも口をすへせしかひありて 云々		定規	〃	1
30	花もなき山根を 云々		忘月	〃	1

短冊（和歌）・短冊（俳句・川柳）

番号	資料名	年代	作者	形態	数量
31	名所山 春秋の山てふ山にわきて名も 云々		久興	尺	1
32	若竹 春も漸受行二月二日あたり 云々		萩原裏住	〃	1
33	ひさかたの雲のうえにて見る菊は 云々			〃	1
34	ひとつもとに千代をこむるときくの花 云々			〃	1
35	春風 ふくとしもなくて小草の袂には 云々		守蔭	〃	1
36	朝露 ふしの根は空にそひえてあしたかも 云々		圀雄	〃	1
37	蚩入／僧袖 古寺の釣せぬ池に飛ぶほたる 云々		嘉門	〃	1
38	七つめの／鳥の春をいはひて 待て見よ小金花咲春くれは 云々		萩原翁	〃	1
39	初秋月 みか月のなかれる枝のうす紅葉 云々		延平	〃	1
40	鹿枝菴に云々 ミたりして灰かひなして埋火も 云々		物築	〃	1
41	紅葉 もみち葉ハ光明にとみつ 云々		山陽	〃	1
42	君夜事の 安邑はわつらはさへも 云々		豆成の主	〃	1
43	山畑にいやかむりをふりなから 云々		本なり	〃	1
44	行先は萬歳村々かつゝミ草 云々		柿本成	〃	1
45	秋田 よく出来し秋いそかしな駕稲の 云々		豆成	〃	1
46	遥見／山花 芳野山めちハはるかにへたれと 云々		御郷	〃	1
47	花 よの人のところを花になしはてゝ 云々		延平	〃	1
48	かめ 万世のたえぬなかれとしめ 云々		春月	〃	1
49	五徳亭云々 忘れぬはては悲しき空蟬の 云々		花盛	〃	1
50	寄／童戯愛 をさな□ち遊び□もせし妹の 云々		豆成	〃	1

短冊（俳句・川柳）

1	(表) 家□つて様川たつて柳かな (裏) 蛤の 云々			尺	1
2	鶯も竹の林□めてたさに			〃	1
3	牛は寝て雲雀立揚る芝生哉			〃	1

番号	資料名	年代	作者	形態	数量
4	海こしに何をたく火そ秋のくれ			尺	1
5	かきつはた 云々			〃	1
6	搔よするめ落葉 云々			〃	1
7	何いふそ落葉搔人の 云々			〃	1
8	花と水暮てしはらくとも明り			〃	1
9	花踏て来し 云々			〃	1
10	葉ハ秋にとハれて桐の花さひし			〃	1
11	峰作 云々			〃	1
12	無藝風に 云々			〃	1
13	目出度を重々て八重の梅			〃	1
14	山よりも湖水 云々			〃	1
15	湯谷や 云々		秋錦	〃	1
16	余の樹にも 云々			〃	1

短冊（その他）

1	二三日梅の梢より 云々		萩屋翁	尺	4
2	信濃なるその 云々		萩屋翁	〃	1
3	木伝ふ梅をととして 云々		宮島員人	〃	3
4	のひのひと若葉の春を 云々		福茶豆成	〃	2
5	春の日に霜とけのして 云々		初瀬花峯	〃	1
6	春風のふくこそ来れ 云々		琴繁記	〃	1
7	雪はきて 云々		雪の屋鳥兼	〃	1
8	□よろ□た□には 云々		大屋跡次	〃	1
9	有馬女や笠君へ（以下、未完）			〃	1
10	漢詩 己巳元旦 坏酒重盤相引 云々			〃	1

